

初任者研修

～旭川医科大学病院の組織の一員として出発～

新入者80名は、4月2日（火）～5日（金）、4月8日（月）～11日（木）の期間で初任者研修を受講しました。病院長や看護部長、各部門の部門長、副部門長、担当者から講義を受け、病院の理念や組織の概要を理解することができました。医療人としての自覚をもち、医療チームの一員として責任ある行動が求められていることを実感していました。また、多職種と連携し、患者により良い医療・看護を提供するために知識・技術の向上、人間性を磨くことが大事であると学びました。



しんじんの時間

1人1人が、1分間スピーチを行いました。趣味や特技、アピールポイントなどを紹介し、同期を知る良い機会となりました。



手指衛生・PPE着脱の演習

院内感染対策の基本である、手指衛生、正しいPPE着脱を学びました。部署での実践にすぐに活用できる内容でした。



救命救急の実践

指導者からの丁寧な説明や指導を受け、心臓マッサージやAEDなどを使用した演習を行いました。



医療安全について

コミュニケーションエラーを防止するためのチェックバック、安全に点滴静脈注射を実施するためのキョクイファイナルチェックの重要性を演習を通して学んでいました。

部門役割紹介

薬剤部、臨床検査・輸血部、光学医療診療部・放射線部を見学しました。講義で学んだ、MRI入室時の注意点などを、実際の場所に行き確認し、物品を見ることで学びがより深まっていました。また、多職種との連携・協働の実際を学ぶ良い機会となりました。

